



# 稚ガニの見学会

浮遊期幼生はプレゾエア、ゾエア、メガロッパと脱皮する毎にその形を大きく変化させます。メガロッパが脱皮すると、はじめてかに本来の形をし、その後は脱皮をして大きくはなるものの形はほとんど変わりません。そこで、はじめてのカニを第1脱皮齢と呼んでいます。

第1脱皮齢の甲幅はわずか約3mm程度です。親ガニの甲らは幅と長さがほぼ同じであるのに、第1脱皮齢では幅が狭いという特徴がありますが、脱皮を繰り返して成長するにつれて幅と長さの差が次第に小さくなります。全身は剛毛でおおわれ、泥やゴミを付着させます。したがって、海底では容易に見つけられないと思われませんが、海底付近を生活の場としている底魚(そこうお)と呼ばれるカレイ類やゲンゲ類の胃の中からは容易に見つけだすことができます。大きくなったズワイガニは無敵とみられますが、小さなときには多くのカニがえさとなっているのです。

## 14:00 ~ 15:00

上記時間帯であれば、越前がにミュージアム  
**クラブラボで脱皮した第1脱皮齢の稚ガニ**  
を見学できます。ご自由にお入りください。

GW期間中は休まず営業します！

休館日：毎週火曜日 入館料：大人 500円・小学生 300円

お問合せ：越前がにミュージアム 電話 0778-37-2626

